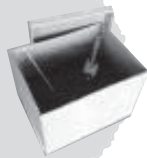


段ボール式

段ボール箱と土壌改良剤の用意だけで、気軽に始められる。
設置場所/屋内
自己負担額/530円



密閉式

容器と発酵剤を使用。虫が発生しにくく、堆肥がたくさんほしい方向け。
設置場所/屋内
自己負担額/1,000~2,000円



コンポスター

大きな容器で土中の微生物やミミズなどを利用。枯葉・枯草も堆肥にできる。
設置場所/屋外
自己負担額/3,000~7,000円



申込方法/購入前に申請書を減量推進課リサイクル係(☎067-0051 工業町14-3、☎383-4211)へ提出。
申請書類配布場所/減量推進課、情報公開コーナー、市役所大麻出張所、水道庁舎証明交付窓口、野幌鉄南地区センター、豊幌地区センター、市ホームページ。

生ごみ堆肥化容器購入費の助成 ●5月1日から先着200名●
生ごみの減量を目的に、堆肥化容器の購入費の一部(千円)を助成しています。この制度を利用し、生ごみの堆肥化に取り組んでみませんか。堆肥は肥料分が多く、園芸や家庭菜園に最適です。**【詳細】** 申込先へ。

募集

廃棄物減量等推進審議会 公募委員の募集

ごみの減量、資源化、適正の取り組みについて」をテーマに800字程度にまとめた「廃棄物減量等推進審議会」小論文とともに5月31日(金)までに減量推進課(☎067-0051 工業町14-3)へ郵送または持参してください。希望者には、応募用紙を送付します。また、昼間に開催)に出席できる方市ホームページのごみとりサイクルのページからも入手できます。
任期/本年7月から2年間
報酬/1回の出席につき5800円(予定)。
応募方法/5月7日(火)から減量推進課で配布する応募用紙に必要事項を記入し、「ごみの減量や資源化に向けた市民」**【詳細】** 減量推進課 ☎383-4211

補助金

国による住宅用太陽光発電システム導入の補助制度

●4月中旬より受付●

●補助金の概要●

1kW当たりのシステム価格	1kW当たりの補助金額
410,000円以下	20,000円
500,000円以下	15,000円

国では、一般家庭への導入促進のため、住宅への太陽光発電システム設置を支援する「住宅用太陽光発電導入支援補助金」の受付を4月中旬より開始しています。太陽光発電は発電時に二酸化炭素を排出しないクリーンなエネルギーです。発電した電気は家庭で使用でき、余った電気は電力会社へ売ることができます。環境負荷を軽減し、節電対策にもなる太陽光発電システムの導入について、この機会に検討してみたいかがでしょうか。**【申込・詳細】** 一般社団法人太陽光発電普及拡大センター(J・PEC) ☎043-239-6200

防災 食

災害時における食について



災害が起きた際、私達にとって深刻な問題となる「食」。環境が整っていないければ、地震を逃れたとしても健康被害により命が脅かされることとなります。東日本大震災では、たくさんの食材が届けられる様子も報道されていましたが、場所によっては、おにぎりやパンばかり届く場所もあったようです。震災時には食べ物のせいたくは言えないかもしれませんが、しかし不規則な食事や栄養バランスを欠いた生活は体に大きな負担をかけます。例としては免疫力の低下、ストレス負荷などが挙げられます。これらは病気を誘発してしまいます。

多めに買い置きして、減った分だけ補充を。

市としても出来る限り食糧備蓄に努めています。災害規模が大きくなれば、市の備蓄だけでは対応できません。市民の皆さんには、最低でも3日分の家庭における備蓄(水・食糧など)をお願いいたします。**無理なく備蓄しよう**
食糧備蓄の方法としては、
○野菜は茹でて冷凍しておく、自然解凍で食べられるようにする。
○お菓子も備蓄する。(チョコレートやナッツなどは持ち運びに便利で栄養価もあり、重宝する。)
○災害時には、冷蔵庫内の食材↓常温食材↓非常食の順に消費する。
食事は体の健康だけではなく、心も元気にしてくれます。味覚が心を和ませ、他の被災者とのコミュニケーションの懸け橋となってくれます。災害時にも安定した食を確保するため、栄養バランスを考えたリストを考えてみましょう。**【詳細】** 総務課(危機対策・防災担当) ☎381-1407